

授業科目名 <英訳>	フランス語学フランス文学(特殊講義) French Language and Literature (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 王寺 賢太					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	金2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	啓蒙期の奴隷制批判論を読む										
[授業の概要・目的]											
<p>啓蒙の世紀と呼ばれる18世紀初頭以来、ヨーロッパは、東インド通商とカリブ海の農業植民地の発展とともに、世界規模の国際通商の要となる。啓蒙期のイギリスやフランスの哲学者たちは、この商業の発展によるヨーロッパ内部の富裕化に、暴力的な支配関係をのりこえ、平民の公民的・政治的権利の拡張と、文化の洗練の原動力を認めた。18世紀の新造語として知られる「文明化 civilisation/civilization」の擁護論である。ただし、ヨーロッパを要とする国際通商の発展は、同時にアフリカ西岸（「ギニア」）からカリブ海植民地に向けての奴隷貿易の拡大を伴うものでもあった。啓蒙の哲学者たちの「文明化」擁護論は、ヨーロッパ内部での「解放」と裏腹なこの黒人奴隷制の拡大を前に、文明化の過程そのものに内在する大きな矛盾に逢着する。</p> <p>本講義では、フランス啓蒙が生んだ近代ヨーロッパ通商史であるレナル/ディドロの『両インド史』第三版（1780）をとりあげ、黒人奴隷貿易の現状の記述と批判に当てられた部分（第11篇）を、フランス語原文ないし英語翻訳（18世紀のもの）で読解し、解説を加えてゆく。その際、啓蒙期の哲学者たちの「文明化」擁護論が、アフリカ人奴隷制を前にどのような屈曲をこうむったか、また哲学者たちが直面する課題に対して、それをのりこえるためのいかなる政治的方策を提案していたかを理解することを目指す。</p>											
[到達目標]											
<p>18世紀のフランス語・英語を正確に読み、思想的な解釈を行なう力を身につけること。『両インド史』は18世紀の一般読者に向けられた書物で、平易な言葉で綴られている。</p> <p>『両インド史』のテキストを出発点として、適宜典拠とされる先行文献とも付き合わせながら、アフリカ人奴隷制をめぐる啓蒙期の哲学的議論のコンテクストを理解すること。</p> <p>『両インド史』における「文明化」擁護論と「文明化」の過程に内在する矛盾の認識から、資本主義勃興期の近代初頭の歴史叙述・歴史哲学を理解すること。</p>											
[授業計画と内容]											
<p>本講義では、レナル/ディドロ『両インド史』第11編「ヨーロッパ人はアフリカにアンティーユの耕作者を買い求めにいく この通商が行なわれるやり方 奴隷の労働による生産物」をフランス語原文ないし英語翻訳で読解しながら、以下のテーマについて解説を加えていく。</p> <p>アフリカ西岸ギニア住民の「人種」的特色について ギニアの自然条件と住民の統治形態・戦争・宗教・習俗・経済について 奴隷制の拡大がギニアにもたらした影響について ヨーロッパ諸国民が行なうギニアにおける奴隷貿易の実態について アメリカ植民地において黒人奴隷がおかれた悲惨な現状について 黒人奴隷の悲惨な現状を改善するためにとるべき方策について 奴隷制の歴史的展開。黒人奴隷制の肯定論の検討とその逐条的反駁。 文明化のヴィジョンとその矛盾。文明化の推進か、文明に対する蜂起か。</p>											
----- フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)へ続く -----											

フランス語学フランス文学(特殊講義)(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

評価は、平常点（70%）、期末レポート（30%）の双方を踏まえて評価する。そのうち、にかんしては、授業への積極的な出席と訳読の担当を評価の対象とする。訳読にかんしては、外国語文献の正確な理解ができているかの評価の目安とする。にかんしては、啓蒙期の奴隷制をめぐる哲学的議論、および啓蒙期の歴史叙述・歴史哲学についての理解を問うものとする。

【教科書】

テキストは授業中に配布するが、そのPDF版は附属図書館のデータベースからダウンロードできる。

Guillaume-Thomas Raynal, Histoire philosophique et politique des etablissements et du commerce des Europeens dans les deux Indes, Geneve, J.-L. Pellet, 1780, 4 vol. in 4°

<http://galenet.galegroup.com/servlet/MOME?af=RN&ae=U104166908&srchtp=a&ste=14&locID=kyotodai>

Guillaume-Thomas Raynal, A philosophical and political history of the settlements and trade of the Europeans in the East and West Indies, London, Strahan & Cadell, 1783, 8 v.

<http://galenet.galegroup.com/servlet/MOME?af=RN&ae=U110435502&srchtp=a&ste=14&locID=kyotodai>

【参考書等】

（参考書）

Jean Ehrard 『Lumieres et esclaves』（Andre Versailles）ISBN:9782874950063

エリック・ウィリアムズ 『資本主義と奴隷制』（明石書店）ISBN:4750318450

その他、授業中に適宜指示する。

【授業外学習（予習・復習）等】

授業参加者には、テキストの訳読の担当が求められる。平易な文体で書かれた18世紀の歴史書が対象となるので、フランス語・英語とも初級程度の力があれば十分に読めるはず。

（その他（オフィスアワー等））

授業参加者には、順番で訳読を担当することが求められる。平易な文体なので、フランス語初級の力があれば、十分に読める（はず）。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。